

Export Fibre Building

輸出纖維會館



食 堂 dining room



ホール前室
foyer of the hall

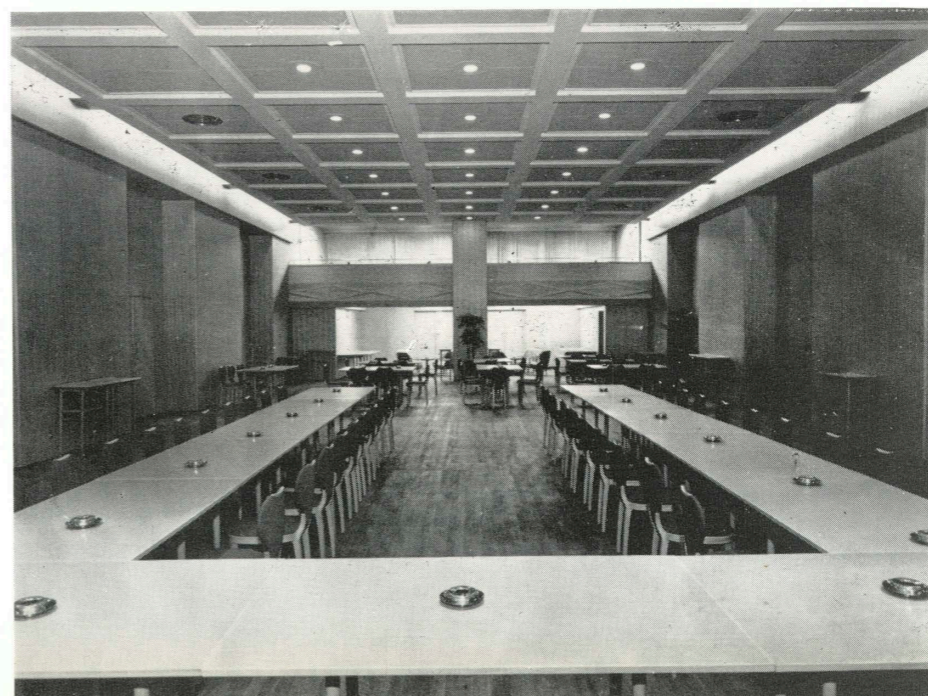
南玄関ホール
south entrance hall



エレベーターホール
elevator hall



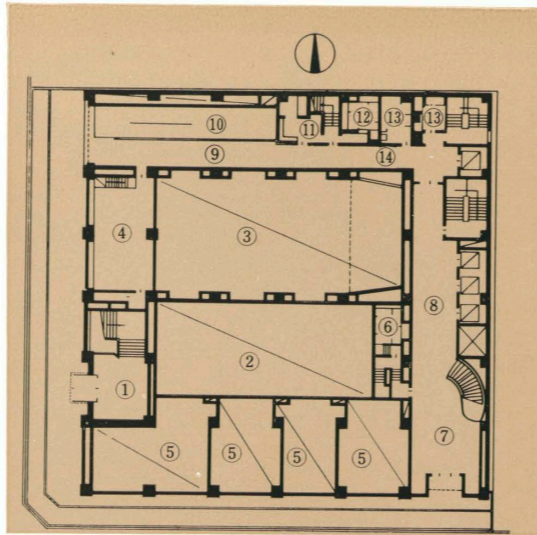
会 議 室 conference room



会 議 室
conference room

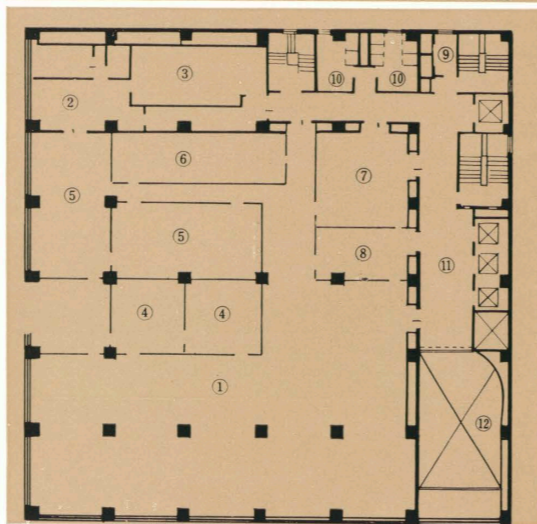
1階平面図

- ①西玄関ホール
- ②前吹抜
- ③ホール吹抜
- ④予備室吹抜
- ⑤会議室吹抜
- ⑥控室吹抜
- ⑦南玄関ホール
- ⑧エレベーターホール
- ⑨自転車置き場
- ⑩スロ
- ⑪守衛室
- ⑫女子更衣室
- ⑬便所
- ⑭廊下



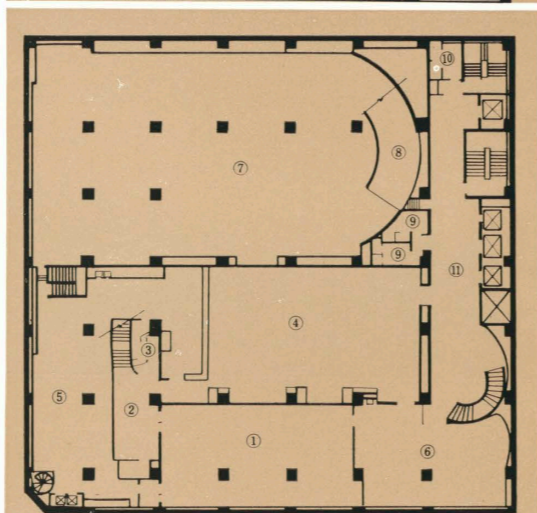
2階平面図

- ①事務室
- ②電話交換機
- ③自動交換機
- ④役員室
- ⑤会議室
- ⑥書庫
- ⑦レミントン室
- ⑧更衣室
- ⑨湯沸室
- ⑩便所
- ⑪ホール及廊下
- ⑫南玄関ホール吹抜



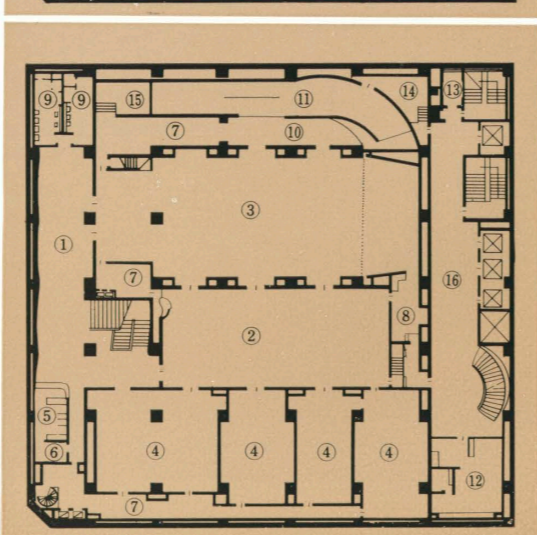
地1階平面図

- ①特別食堂
- ②前室
- ③バ
- ④職員食堂
- ⑤第一厨房
- ⑥休息室
- ⑦車庫
- ⑧スロ
- ⑨便所
- ⑩清掃夫詰所
- ⑪エレベーターホール



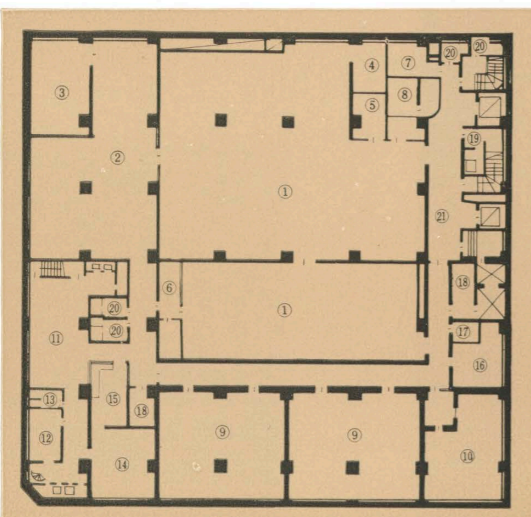
中地階平面図

- ①ロビ
- ②前室
- ③ホール
- ④会議室
- ⑤タロ
- ⑥予備室
- ⑦パソ
- ⑧控室
- ⑨便所
- ⑩軽量車置き場
- ⑪スロ
- ⑫理髪室
- ⑬清掃夫詰所
- ⑭倉庫
- ⑮ファンルーム
- ⑯エレベーターホール



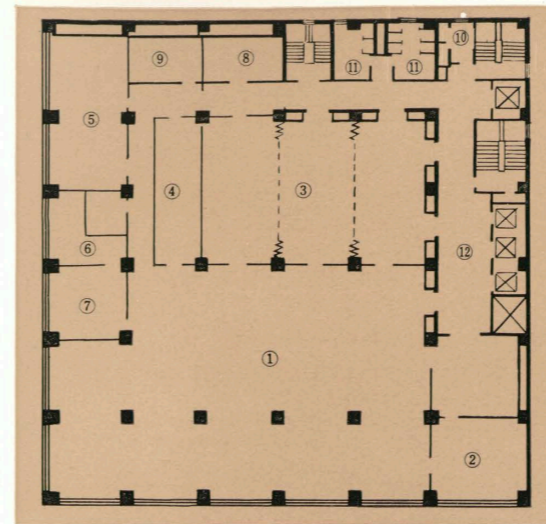
地2階平面図

- ①機械室
- ②電気室
- ③自家発電室
- ④石炭庫
- ⑤灰庫
- ⑥監視員室
- ⑦ポンプ室
- ⑧塵埃処理室
- ⑨書庫
- ⑩金庫
- ⑪第2厨房
- ⑫
- ⑬冷蔵庫
- ⑭什器庫
- ⑮厨房事務室
- ⑯電池室
- ⑰整流器室
- ⑱ロッカールーム
- ⑳浴室
- ㉑便所
- ㉒ホール及廊下



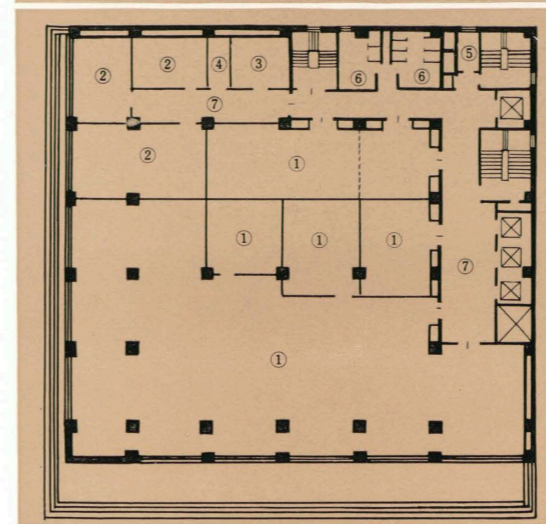
3階平面図

- ①事務室
- ②役員室
- ③会議室
- ④書類室
- ⑤図書室
- ⑥印刷室
- ⑦タイプ室
- ⑧記者室
- ⑨試験室
- ⑩湯沸室
- ⑪便所
- ⑫ホール及廊下



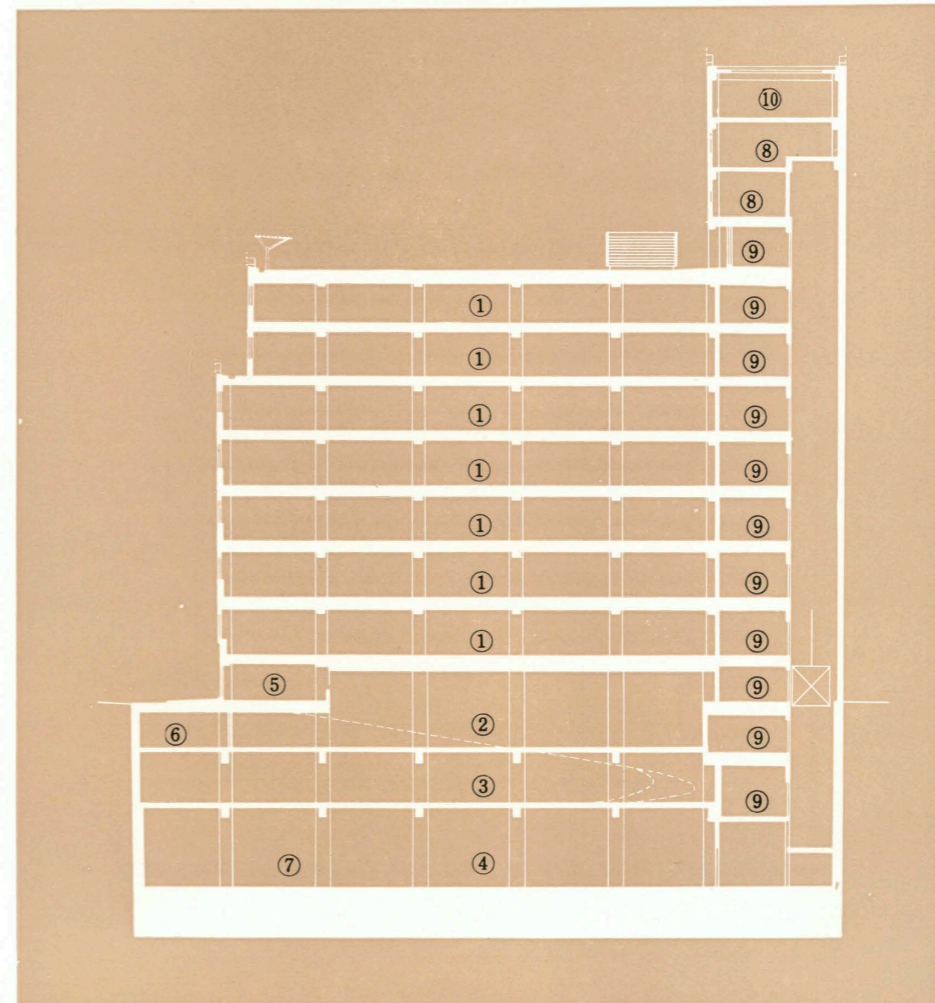
7階平面図

- ①事務室
- ②会議室
- ③書庫
- ④配膳室
- ⑤湯沸室
- ⑥便所
- ⑦ホール及廊下



東西断面図

- ①事務室
- ②ホール
- ③車庫
- ④機械室
- ⑤予備室
- ⑥ロビ
- ⑦電気室
- ⑧機械室
- ⑨エレベーターホール
- ⑩クーリングタワー



工 事 概 要

建築概要

建 築 地	大阪市東区備後町 4-4
敷 地 面 積	1751.54 m ² (530.7 坪)
建 築 面 積	1,368.5 m ² (414.0 坪)
延 床 面 積	15,260.23 m ² (4,585.9 坪)
構 造	地下3階 地上8階 塔屋3階 鉄骨鉄筋コンクリート造
高 さ	標準地盤より 軒高 31 m 標準地盤より 塔屋 43 m 標準地盤より 基礎端まで 11 m

建築の意匠について

先づ平面計画中最も重要な大ホール、前室、会議室等は1階を吹抜いて中地階に配置されています。これはエレベーターを使わず専用の西玄関より容易に出入出来るためであり、又前面通路中による高さの制限内を8階建にし必要な事務室を収容するため1階に天井の高い室をとることが出来ないためでもあります。これ等の部屋は凡て1階の外壁に窓を設けず道路よりの見透と騒音を防ぐ様になっています。

2階以上8階迄は各組合の事務室に当てられ主要玄関である南玄関より階段及エレベーターで連絡されています。

中地階は大ホール、前室、会議室、ロビー等。地1階は特別食堂、バー、職員食堂、厨房、自動車車庫（之は地上よりスロープにて導かれています）。地2階は厨房、機械室、電気室、金庫、書庫等があります。

塔屋にはエレベーター機械室、空調室、クーリングタワーが設けてあります。南、西の外壁は1階から8階迄伊太利産トラバーチン貼、東、北面はモザイクタイル、塔屋外壁は全面ガラスモザイク貼であります。窓は上部嵌殺し、下部気密性の引違にしたアルミサッシュを用い、ガラスは防熱、防音のためアンチサンガラスと透明ガラスの二重ガラスを用いました。

地階の主要集会室は総て壁を朴又はウォールナット等のベニヤ仕上とし特に前室の大壁画は堂本印象画伯の原案で竜村商工製の絹製綴錦を張つめて装飾としました。又南玄関の全壁面も堂本印象画伯の原作をガラスモザイクで貼りました。1階及2階エレベーター廻りの壁は大理石貼、1階ホールの床はトラバーチン貼、各階エレベーター、ホールは壁セラゾー、床ゴムタイル、天井プラスターベッキ塗仕上としました。各階事務室は床リノリューム壁プラスターベッキ、1部煉ベニヤ天井は軽量鉄骨二重天井で吸音テックス貼、屋上はクリンカータイル貼、外周に鉄製パーゴラを設けました。

構造について

この建物の敷地は本町台地の西端にあり、建物を支持する堅い地層が地下14mにあるので建物の基礎は、ベタ基礎としてその堅い層に載せ基礎杭は打ちませんでした。

又建物の骨組みは鉄骨鉄筋コンクリート造としましたが、地階に柱間隔の広い室があり、又階高が低いので、柱と梁の大きさを出来るだけ小さくするため、鉄骨は強度の高い高張力鋼を使って溶接で組立て、コンクリートにも四階以上に軽量コンクリートを使う等の工

夫をして無理の無い丈夫な建物としました。之はこの建物の大きな特色の一つであります。

高張力鋼をビル建築に本格的に使ったものとしては我国始めてのもので、理論的な研究と同時に、大阪大学工学部溶接工学科の渡辺教授に依頼して実験を行い、確信を得ました。

設備について

受 電 設 備	6,600 V にて受電し、全変圧器容量は 1,100 kVA、他に 6,600 V の高圧モーター 3 基、この容量合計は 565 kW です。
予 備 発 電 機	停電時非常用として 6,600 V、出力 250 kW の交流ディーゼル発電機 1 基を設置しました
照 明	蛍光灯と一部白熱灯を併用しました大ホールには蛍光灯調光装置を付けました。
弱 電	時計、スピーカー、大ホール専用拡声装置、非常用警察及び消防署通報装置、ガレージ管制装置、ガレージ収容能力表示器、テレビ受像用集合アンテナ設備を設けました。
火 災 報 知 設 備	能美式火災報知機を設備しました。
電 話	A 型自動交換機容量 600 回線、実装 400 回線を設備しました。

エレベーター設備 客用エレベーター

3 台並列シングルラップ、トラクションギヤレス型積載量 100 kg 定員 15 名、速度 150 M/毎分、群管理全自動運転方式の 4 プログラム、オートトロニックコントロール方式にて、出勤時間のアップピーク、退出時間のダウンピーク、昼間時間のバランス、休日、夜間用のインターミテッドの四つの輸送方式よりなり、自動的に方式は切替わり、運転は調整されます、他に人貨用エレベーター 1 台直流ギヤード積載量 1,800 kg、定員 27 名、速度 75 M/毎分と、厨房用ダムウェイター 4 台を設置しました。

空気調和及び換気設備

本建物の用途が貸室と会館とに分かれていますため、夫々に適合する方式を採用しました。会館部分は、使用時間及び入場人員の浮動性に備え、専用冷凍機に変速モーターを使って経済的運転をはかり、貸室部分は、有効貸室面積を増大させるため、高速ダット及びウェザーマスター方式としました。

主な使用機器

ターボン冷凍機（キャリア 17 M 型）2 基、全能力 520 米冷凍屯、煙管式ボイラー（MP 306 型）1 罐

給排水衛生厨房設備

大阪市に於て近時重大化してきた地盤沈下を重視し、地下水を用いず用水は全て市水を使いました。給湯は厨房とその他の二系統に分けました。厨房は和洋食を処理できる設備とし特に各パントリーには、ウォーマを設け最適温の料理が提供できる様にしました。